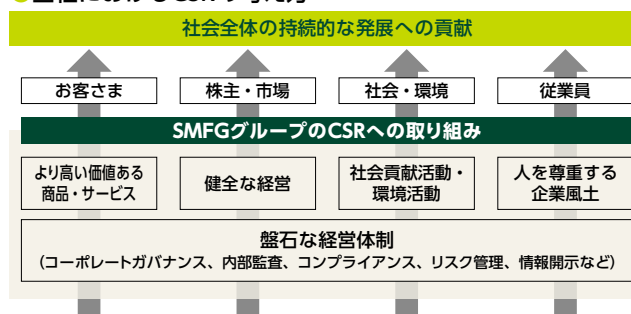


ステークホルダー・エンゲージメント

ステークホルダーへの価値提供を通じて、社会全体の持続的な発展に貢献

三井住友フィナンシャルグループではCSRへの取り組みにおいて、盤石な経営体制のもと、4つのステークホルダーにより高い価値を提供することを通じて、究極的には社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

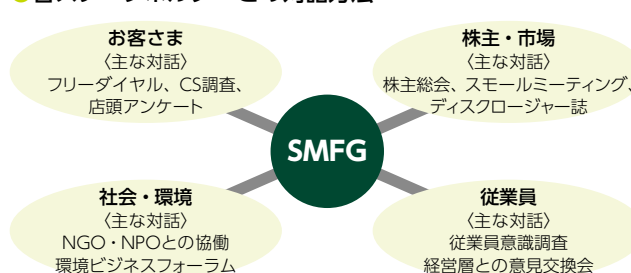
●当社におけるCSRの考え方



各ステークホルダーとの関係構築に向けて

- **お客さま**：お客さまにより高い価値ある商品・サービスを提供し、お客さまとともに発展していきます。
- **株主・市場**：適切な情報開示を行うとともに、内部統制の整備を通じて、健全な経営を堅持し、株主価値の増大に努めます。
- **社会・環境**：社会貢献活動・環境活動に継続的かつ積極的に取り組み、社会への貢献、地球環境の保全などに努めていきます。
- **従業員**：人を尊重し、従業員がその能力を遺憾なく発揮できる企業風土を醸成していきます。

●各ステークホルダーとの対話方法



具体的な取り組みについては、Webサイトをご覧ください。

- **Web** CS・品質向上への取り組み(お客さま)
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/cs/>
- **Web** 株主・投資家の皆さまとのかわり(株主・市場)
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/communication/>
- **Web** 株主・投資家の皆さまへ(株主・市場)
<http://www.smfg.co.jp/investor/>

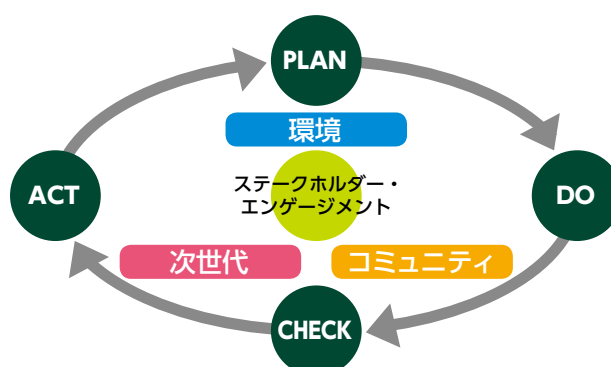
- **Web** 環境活動(社会・環境)
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/environment/>
- **Web** 社会貢献活動(社会・環境)
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/community/>
- **Web** 人の尊重と人材活用(従業員)
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/employee/>

優先課題解決に向けたPDCA機能を担う

当社グループでは、2013年度まで設定していた4つの優先課題(震災復興、環境、少子・高齢化、グローバル)の解決に向けた取り組みを、ステークホルダーの皆さまとのダイアログを通じて進めてきました。

2014年度以降は、新たに特定した3つの重点課題(環境、次世代、コミュニティ)の解決に向け、更にエンゲージメントを深め、取り組みを進めていきます。

●3つの重点課題の解決に向けたPDCAサイクル



詳しくはWebサイトをご覧ください。

- **Web** ステークホルダー・ダイアログ
http://www.smfg.co.jp/responsibility/csrfinance/dialog_index.html